



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 平河ヒューテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 5821 URL <http://www.hewtech.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 篠 祐一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 星 一昭

TEL 03-5493-1711

四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日

配当支払開始予定日

平成29年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	12,801	5.6	1,264	13.1	1,307	8.7	1,181	5.3
29年3月期第2四半期	12,124	13.1	1,455	36.0	1,432	33.3	1,121	57.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,415百万円 (820.5%) 29年3月期第2四半期 153百万円 (72.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	84.09	
29年3月期第2四半期	79.87	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	31,804	22,961	72.2	1,634.56
29年3月期	30,633	21,721	70.9	1,546.29

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 22,961百万円 29年3月期 21,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		6.00		12.50	18.50
30年3月期		9.00			
30年3月期(予想)				9.50	18.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	6.3	2,600	1.5	2,600	1.6	2,000	5.4	142.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	17,627,800 株	29年3月期	17,627,800 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	3,580,160 株	29年3月期	3,580,160 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	14,047,640 株	29年3月期2Q	14,047,640 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替変動等による不透明感を残すものの、個人消費と輸出の持ち直しもあり、緩やかな回復基調が続きました。

海外経済は、アジア経済について中国景気は持ち直しの動きがみられ、米国では個人消費や設備投資の増加から拡大基調を維持し、欧州経済も概ね堅調に推移しました。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、カーエレクトロニクス市場は堅調に推移しましたが情報通信機器市場は弱含みで推移しました。

このような環境の下、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、車載用ケーブル及び半導体製造装置用ケーブル等の売上が堅調に推移したことにより、売上高は128億1百万円（前年同期比5.6%増）となりました。銅価格の上昇、成長分野への設備投資及び研究開発費の増加等により、営業利益は12億64百万円（同13.1%減）、経常利益は13億7百万円（同8.7%減）となりました。投資有価証券売却益等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億81百万円（同5.3%増）となりました。

主なセグメント別の業績は、次のとおりです。

（電線・加工品）

車載用ケーブル及び半導体製造装置用ケーブル等の売上が堅調に推移したことにより、売上高は105億54百万円（前年同期比7.6%増）となりました。銅価格の上昇、成長分野への設備投資及び研究開発費の増加等により、セグメント利益は12億46百万円（同11.4%減）となりました。

（電子・医療部品）

医療用特殊チューブ及び放送機器の売上は堅調に推移しましたが、ネットワーク機器の売上が減少したことにより、売上高は21億71百万円（前年同期比3.1%減）となりました。成長分野への設備投資及び研究開発費の増加等により、セグメント利益は2億64百万円（同9.1%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ11億70百万円増加し、318億4百万円となりました。主な増加は、受取手形及び売掛金が7億67百万円、機械装置及び運搬具（純額）が5億20百万円増加し、主な減少は、投資その他の資産の投資有価証券が2億47百万円減少しました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ69百万円減少し、88億42百万円となりました。主な減少は、長期借入金が4億17百万円、流動負債その他の未払費用が1億16百万円減少し、主な増加は、支払手形及び買掛金が4億42百万円増加しました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ12億39百万円増加し、229億61百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益11億81百万円、為替換算調整勘定の増加1億92百万円及び利益剰余金の配当1億75百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月10日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,800	6,645
受取手形及び売掛金	6,973	7,740
有価証券	298	295
商品及び製品	1,802	1,809
仕掛品	747	748
原材料及び貯蔵品	2,087	2,164
繰延税金資産	143	179
その他	459	635
貸倒引当金	△1	△8
流動資産合計	19,312	20,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,994	2,886
機械装置及び運搬具(純額)	2,428	2,948
土地	2,549	2,543
その他(純額)	700	634
有形固定資産合計	8,672	9,013
無形固定資産	268	407
投資その他の資産	2,380	2,172
固定資産合計	11,321	11,593
資産合計	30,633	31,804

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,365	2,808
短期借入金	1,174	1,113
未払法人税等	249	336
賞与引当金	51	149
その他	1,250	1,021
流動負債合計	5,091	5,429
固定負債		
長期借入金	1,693	1,276
退職給付に係る負債	1,902	1,916
役員退職慰労引当金	45	35
その他	180	185
固定負債合計	3,820	3,413
負債合計	8,912	8,842
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,555	1,555
資本剰余金	1,459	1,459
利益剰余金	19,659	20,665
自己株式	△2,339	△2,339
株主資本合計	20,334	21,340
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	358	401
為替換算調整勘定	1,017	1,209
退職給付に係る調整累計額	11	10
その他の包括利益累計額合計	1,387	1,621
純資産合計	21,721	22,961
負債純資産合計	30,633	31,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	12,124	12,801
売上原価	8,901	9,583
売上総利益	3,222	3,218
販売費及び一般管理費	1,767	1,953
営業利益	1,455	1,264
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	9	11
為替差益	—	3
その他	23	30
営業外収益合計	41	52
営業外費用		
支払利息	5	5
為替差損	52	—
その他	5	4
営業外費用合計	64	10
経常利益	1,432	1,307
特別利益		
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	—	306
特別利益合計	—	308
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2
貸倒引当金繰入額	—	168
保険解約損	0	0
特別損失合計	0	171
税金等調整前四半期純利益	1,431	1,444
法人税、住民税及び事業税	360	337
法人税等調整額	△50	△74
法人税等合計	309	263
四半期純利益	1,121	1,181
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,121	1,181

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,121	1,181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135	42
繰延ヘッジ損益	△40	—
為替換算調整勘定	△1,073	192
退職給付に係る調整額	9	△1
その他の包括利益合計	△968	234
四半期包括利益	153	1,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153	1,415
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,809	2,239	12,049	74	12,124	—	12,124
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	5	6	—	6	△6	—
計	9,811	2,245	12,056	74	12,131	△6	12,124
セグメント利益	1,407	290	1,697	45	1,742	△287	1,455

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2億87百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2億87百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,554	2,171	12,725	76	12,801	—	12,801
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	11	15	—	15	△15	—
計	10,558	2,182	12,740	76	12,817	△15	12,801
セグメント利益	1,246	264	1,510	41	1,551	△287	1,264

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2億87百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2億81百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。